

第三回大會報告書目次

第一章 一般情勢		第四章 一般闘争	
一、苦闘一年の回顧	一	一、九軌要求運動	二八
二、社會民主主義の捷利	二	二、市營貨店設備改善要求運動	三〇
三、黨勢概観	三	三、上水道不正事件に於ける吾黨の追撃	三一
第二章 選挙運動		第五章 黨務報告	
一、市議戦前の政情	五	一、組織部報告	三二
二、臨戦準備	七	二、教育部報告	三三
三、彈壓下の悪戦苦闘	十	三、演説會報告	三六
四、大衆の審判吾黨に降る	十三	四、聯合會活動と援助	三七
五、民憲黨の壊滅	十七	五、會計報告	三八
第三章 市會對策		六、第五十六議會に使せる 龜井代議士の活動	三九
一、民衆政治への第一歩と公新會の横暴	十八		
二、選挙異議申立に於ける吾黨の態度	二〇		
三、國庫助成金増額に於ける吾黨の態度	二四		

第一章 一般情勢

一、苦闘一年の回顧

昭和四年一月二十八日の第二回大會より、同十一月二十四日の第三回大會に到る支部一ヶ年の苦闘の足跡を回顧するに、幾多の意義深き教訓を發見すると同時に、黨幹部及一般黨員諸君眞に義勇的、犠牲的貢獻の上に築かれたる黨勢の顯著なる發達を看取する。

吾黨々員殊に幹部は總て工場其他の生業に従事する人々であつて、一日の大部分の時間を勤勞に費すが故に餘暇極めて尠く、従つて黨の活動力亦甚しく減殺され居るは、蓋し已むを得ざる處である。從來及び今日に於ても吾黨が其の大衆的宣傳戰に於て日本大衆黨に數々一籌を輸し、其結果、往々にして極めて不利の立場に陥ることのある所以は、實に茲に在る。

遮莫、此の短所は、同時にまた長所でもある。勤勞に生くるが故に職業政治への墮落を防止し得る。勞働による汗の尊貴を知るが故に、指導精神に於ても、實踐的行動に在りても、克く概念的、超現實的飛躍を避け得る。更らに、貧しくとも、働いて居るが故に、暮夜秘かにブルジョアの門を叩く必要もなく、争議の仲買をする必要もなく、常に毅然として威武に屈せず、富貴に淫せらるることなし。

數千の會員を有する二大労働組合（官業労働總同盟同志會、労働組合共同研究會）を支持團體として居ることは、吾支部最大の誇りであり、強味である。此の誇り、強味は選挙戦に當つて益々發揮される。

八幡に於て十年の古き歴史を有つ浅原健三君の率ひる日本大衆黨八幡支部を、彼等の決死的防衛にも拘らず、昭和四年四月の市議戦に於て、立憲後僅か一年數ヶ月の吾支部が憐む可き惨敗にまで追撃し得たことも、實に這個労働組合を背景とするの強味に因つたものである。

さるにても、同一黨内に二大勢力の存在することは、究極に於て、兩者の對立である。對立は、やがて抗争の前一步である。吾支部發展のためには、兩組合は可及的速かに合同さすべきである。同じ製鐵所内の組合であり、而も其の指導精神が全然同一であり、若しくは甚しく近似せるに於てをやだ。兩組合の合同は、實に吾支部發展の前提たるばかり